

# レンコン田における野鳥被害防止対策



レンコン田における野鳥被害防止対策では、被害の状況に応じて、以下に示したような対策を選択し、複数の方法を組み合わせて実施することが効果的です。

## 直置き網

- 防鳥効果が高い
- 収穫時の手間増

収穫前のみ田面近い高さに網を張り、収穫後は撤去。  
※裏面参照



直置き網（べたがけ）



支柱ありの直置き網

## 立体式防鳥網

- 防鳥効果が高い
  - 費用が高価
- 効果の維持、野鳥保護の観点からこまめな管理作業が必要

野鳥の飛来が多いほ場や大きな被害を受けるほ場に優先的に設置。  
適正な管理が必要。



## 立体式防鳥網の適正な管理

- ★野鳥が中に入らないよう、出入りする時以外は、防鳥網のサイドネットを確実に閉じましょう。
- ★ゆるんだ網や、サイドネットがポケット状になっていると野鳥が絡まりやすいため、ピンと張るようにしましょう。
- ★収穫後は、取り外すか、サイドネットを確実に閉じましょう。
- ★万が一、野鳥が絡まってしまった場合は、速やかに放鳥してください。

## 浅水管理

- 費用が掛からない
- 霜害等のリスクあり

### 《ポイント》

浅すぎると霜害等の恐れがあり注意が必要。  
水深5cm、田面を均平に。

## 早掘り

- 費用が掛からない
- 出荷時期の制限

### 《ポイント》

野鳥の飛来が少ない10月より前に収穫することで、被害を受けにくくなる。

## 人による見回り

- 忌避効果が高い
- 一定の労力が必要

### 《ポイント》

- ①ライト等を持った見回りは、継続すると効果的。
- ②労力軽減のため、複数人で分担・協力するなどの工夫を。

## 音、忌避具による追い払い

- 他の方法より管理が安易
- 慣れると効果低下

### 《ポイント》

爆音機、かかしなどの忌避具は、被害がある時期に限り使用し、使用後は撤去。

# 《 対策事例紹介 No.1 》

## 直置き網

最適な被害防止対策の方法は、条件により異なり、様々あるのが現状です。それぞれの生産者が工夫して取り組む事例を、順次紹介していきます。

### 〔設置の手順〕

- ① 道路側の一辺に網の束を伸ばしておく。
- ② 2人で両端を持ち、網を持ち上げるようにしてレンコンの茎の上に広げる。
- ③ 網の張り終わりとし張り始めを重ねて、複数枚を設置し、ほ場全体を覆う。



①



②



③

### 〔使用資材（一例）〕

網 防鳥網 45mm目  
10a 当り必要量 (1年で使い捨て)  
150坪(幅18mx長さ27m)X3個



### メリット

- ★専門業者でなくても設置が可能
- ★低コスト10aあたり約9千円～

### 〔設置費用〕

約9千円 / 10a

### 〔設置時間（目安）〕

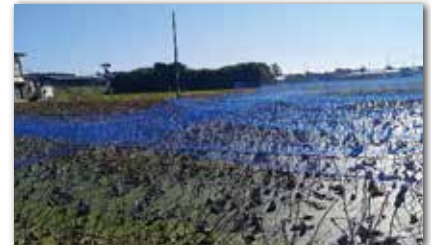
2人で約15分 / 10a

※ほ場幅が網1枚の幅より長い場合や、支柱を立てて設置する場合は、さらに時間がかかる。

### 〔留意事項〕

- ・野鳥の飛来前に設置する。
- ・収穫時に、必要な範囲の網を外す。
- ・網が田面に沈む恐れがある場合は、支柱を立て、エスター線を張り、網が沈まないようにする。

### 【その他の設置事例】



青色の強力防鳥網  
(30mm目、1000デニール)を使用した設置事例  
※複数年繰り返し使用が可能

※県内農家への聞き取りによる

## レンコンに被害を及ぼす主な野鳥

マガモ



オス

全長60cm、オスは緑色の頭部、白い首輪、黄色いくちばし  
メスは褐色、冬鳥  
収穫期のレンコンを食害



メス

カルガモ



全長60cm、雌雄同色、全体が褐色、くちばしの先端が黄色、  
留鳥  
収穫期のレンコンを食害

オオバン



全長40cm、雌雄同色、全体が黒色、くちばしと額が白い、  
留鳥  
春先の営巣による茎葉への被害、収穫期のレンコンを食害

### 【発行】

## 茨城県農林水産部

お問合せ、その他、野鳥被害対策でお困りの際は  
管轄の普及センターまで  
連絡ください。

令和5年2月発行

(本チラシの内容に関するお問合せ)  
農村計画課、管轄の普及センター